

令和元年度 第3回千曲市地域公共交通活性化協議会 会議概要

期日：令和元年12月26日（木）午後2時00分～午後3時15分

場所：千曲市役所 更埴庁舎 集団指導室

出席者：委員出席18名（7名欠席）、事務局4名（委託事業者1名含む）

会議事項

（1）千曲市地域公共交通網の再編について

千曲市地域公共交通網、特に地域交通軸及びフィーダーの再編について資料に基づき、事務局より説明。

<委員からの意見・質問とそれに対する回答>

（北陸信越運輸局 佐々木委員）

網形成計画で設定した目標を念頭において、路線再編を行ってほしい。網形成計画では、1便あたりの利用者数を地域交通軸で6人/便、フィーダーで2人/便としている。住民との協議の中ではどうしても、様々な要望を受けて便や路線長が過大になりがちだが、その点は計画に立ち返りながら再編を進めてほしい。

路線の収支率については、どのように考えているか。

（事務局寺澤）

各路線ごとに目標を明確化し、評価していきたい。個々の路線の収支率については、明示しにくい面もあるが、今後の検討としたい。

千曲市地域公共交通網の再編案は承認された。

（2）バス停留所の新設と移設について

バス停留所の新設と移設について資料に基づき、事務局より説明。

質疑は特になし。

バス停留所の新設・移設案は承認された。

（3）地域公共交通確保維持改善事業の一次評価について

地域公共交通確保維持改善事業の一次評価について資料に基づき、事務局より説明。

質疑は特になし。

地域公共交通確保維持改善事業の一次評価は承認された。

（4）廃止代替バス「屋代須坂線」の見直しについて

廃止代替バス「屋代須坂線」の見直しについて資料に基づき、事務局より説明。

（長電バス 鈴木委員）

現時点でこちらの路線は、朝・夕を中心とした通学の利用、昼は通院の利用と、朝早くから夜遅くまで運行しているが、全便を今のまま維持していくのは難しいため今回このような提案をした。通学・通院に大きな影響を及ぼさないように考慮した。利用者の少ない便があるが、車両運用・乗務員の勤務の都合上、日中の便を減らしても人員削減には繋がらないため、このような案となった。これにより、担当する乗務員の数を1人削減できる。シンリク観光に協力をお願いし、負担の軽減を図った。今年の4月1日にはこの案で運行を実施したいと考えている。

<委員からの意見・質問とそれに対する回答>

(長野県タクシー協会 新井委員)

シンリク観光が下請けのようなかたちで引き受けるのか、長電バスと共同で運行するのかなど、このバスがどのようなかたちで運行をされるのか教えてほしい。

(長電バス 鈴木委員)

正確に言えば、長電バスの自主路線とは異なる。廃止代替路線のようなかたちをとることになる。千曲市、長野市、須坂市の3市をまたいで走っている路線で、これまでは長電バスが単独で運行していた。親会社の長野電鉄の路線が廃止になったため、平成24年より長電バスがその路線を引き継いだものだ。自治体から補助を受け取り、路線を維持してきた。シンリク観光もこれと同じように、自治体からの補助金を受け取り、バスを運行するというかたちになる。

(長野県タクシー協会 新井委員)

シンリク観光が、路線を持つことになるという認識でよろしいか。

(長電バス 鈴木委員)

そのようになる。

廃止代替バス「屋代須坂線」の見直し案は承認された。

4. その他

(1) 定額タクシーモデル事業について

事務局より、来年度に県で実施される定額タクシーモデル実証実験、諏訪地域で実施されたジェロンタクシー実施実験結果の説明。

(2) 欠席委員からの意見

体調不良により会議を欠席された柳澤委員（長野高専）からの意見を事務局より代読。

<柳澤委員からの意見>

この度、運行見直しにおいては、運転手不足等により運行便の一部が急遽廃止・変更となった。

事業者の皆様におかれては、今後も、収支の不均衡、運転士不足などの問題で大変かと推察する。しかし、運転士不足を理由に、いきなり運行取りやめを申し出るのではなく、もし、運行維持が不可能な状況が近々に起こることが考えられる状況であれば、直ちに事務局に申し出てもらって、地元住民に説明と実施可能な複数案の対応を示し、住民に代替案を選んでもらい、協議会で合意をとる流れが利用者也巻き込んで運営する地域公共交通会議の規約に合致していると思われる。地域公共交通は住民利用者の協力なくして成り立たず、そのためにも、利用者との信頼関係の醸成は欠かせない。運行維持が不可能な状況が近々に起こることが考えられる状況であれば、直ちに事務局に申し出ていただくことと、実施可能な複数案を情報共有していただくようよろしくお願いいたします。

<委員からの意見・質問とそれに対する回答>

(長野県タクシー協会 新井委員)

ジェロンタクシーの件について、昨年諏訪で実施されたということで、県ではこのような事業を広めていこうとしている。タクシー業界としては協力していきたいと考えているが、千曲

市はモデル地区として手を挙げるという認識でよいか。

(事務局寺澤)

タクシー事業者の皆さんのやりたいという意思を見せていただかないと、進めることが難しい。まずは、タクシー事業者の中で意思を統一をして欲しい。

(長野県タクシー協会 新井委員)

以前、年内中に、やりたいという意思表示をしておかないと、選定の中に入らないと聞いたが、その点についてはどうか。

(長野県 平林委員)

当初はそのようなスケジュールであったが、その後、台風19号による災害など想定外の事態が発生したことにより、スケジュールが全体的に遅れている。本日の資料に実施スケジュールを示しており、県内の事業実施の希望を持つ事業者たちと話を進めている最中で、年内が締切にはならない見通しだ。

(長野県タクシー協会 新井委員)

本会議は、今回は2月であるが、2月まで先送りにしてしまってもよいのか。手を挙げるとなれば、公共交通会議の中です承を得られてから申し込むと聞いていたが、2月時点で手を挙げることで間に合うのか。

(長野県 平林委員)

書面協議という方法も検討したい。

(長野県タクシー協会 新井委員)

個別の事業者に意思の確認などをおいた方がよいのか。

(長野県 平林委員)

お願いしたい。

(長野県タクシー協議会 新井委員)

承知した。

(アルピコ労働組合 山岸委員(浦沢委員代理))

千曲市の循環、姨捨線、大田原線を運行しているが、姨捨線の見直し方針について質問がある。千曲市役所西では、待機場所の確保はできるのか。

(事務局寺澤)

千曲市役所西というバス停の中に、バス1台が入るスペースがあるので、そこを待機場所として使用する想定である。

(アルピコ労働組合 山岸委員 (浦沢委員代理))

具体的な細かいダイヤなどは、これから決めるということでしょうか。

(事務局寺澤)

運行事業者であるアルピコ交通と相談していきながら、決定していく予定である。

(アルピコ労働組合 山岸委員 (浦沢委員代理))

冬は、大幅な遅れが生じた場合の接続に不安を感じている。姨捨線の1日1往復、大池揭示への運行は、冬の期間も同じ想定か。

(事務局寺澤)

冬場も同じ想定でいる。

(アルピコ労働組合 山岸委員 (浦沢委員代理))

バスの転回について少し不安が残る。また、除雪についてもお願いしたい。

(事務局寺澤)

除雪も、問題がないように行っていく。

(会長)

その他、会議全体を通して何かあるか。

5. 閉会

小平副会長より挨拶ののち、閉会。

以上